



おちに 8,9月号

新宿区立落合第二小学校

「夏休みの読書に思う」

校長 山貝 正海

夏休みが明け、学校にはまた元気な子どもたちの声が戻ってきました。この夏、とある朝のTV番組のコーナーに目が留まりました。「夏休み中の宿題で、苦勞したのはどっち?」と視聴者にアンケートを取る企画で、その選択肢は、「読書感想文」or「自由研究」というものでした。この2つは全国各地地域を問わず、さらに時代をも超えて、夏休みの課題の定番なのでしょう。また、課題を出す側の意図とは別に、課題を出された側には「苦勞」した課題だったことが皆の共通意識であるという前提が垣間見えます。出される側として子供時代を過ごし、出す側となり、また、わが子の課題にも付き合ってきた身として、色々と考えさせられました。

【エピソード1】 自分の小中学生時代。夏休みの宿題はぎりぎりにならないとできないタイプでした。

【エピソード2】 25年前のこと。5年生の担任でした。夏休み明けの保護者会にて、ある保護者の発言：「うちの子は読書が大好きなんですけど、感想文を書かなければと思うと読む気がなくなるらしいんです。感想文の宿題はなくすわけにはいきませんか?」自分を振り返り少し頷けた私は、翌年、6年生の夏休みは、感想文ではなく、読書記録という課題に変えました。

【エピソード3】 今年、中3の次男が感想文の宿題があるということで、選書のため本屋に同行しました。次男曰く「小説とか物語とか、感想文書きにくいんだよね。」私：「自分が興味をもったり、読んでみたいと思うことが先なんじゃないのか?」次男：「うん。でも、書かなきゃならないから。」私「・・・。」結局、次男は、戦後70年をテーマにした随筆集のような本を選びました。私は(それも、いいか)と納得させつつ思いは複雑でした。

それぞれのご家庭では、この夏どんな読書体験をされたでしょうか?感想文に苦勞したお子さんもいたことでしょうか。子ども達の前に、「せねばならぬ感」が横たわっているのも現実です。本当はもっと自由に、縛られず、夏休みだから読める本、読みたい本にできる限り多く触れて新しい世界に出会い、視野を広げ、心豊かになってほしいと願うことが親の心(教師の心も)ですが、教師の意図は、苦勞しながらも、読書で出会った世界を自分の中で咀嚼し、自分の表現でアウトプットする作業は価値ある学習であり、子どもたちを大きく成長させる課題であるという信念から発せられています。

休み明け、各教室には感想文・自由研究も含め、数多くの成果が披露されます。今年はそれぞれの作品が完成にいたるまでの子どもたちの様々な思いにも少し心を寄せながら、個性豊かに並べられた子ども達の力作を丁寧に鑑賞させていただこうと思っています。

8,9月の生活目標

◎きまりを守って生活しましょう。

- ・時間を守りましょう。
- ・忘れ物をしないようにしましょう。
- ・あいさつをしましょう。
- ・早寝早起きをしましょう。



8,9月の行事予定



週	月	曜	行 事 予 定	放
B	8月24日	月	夏季休業日終	
	25	火	始業式 特水時程4時間授業 大掃除(3校時)	
	26	水	安全指導 給食始 測定(5,6年,若業) 委員会	
	27	木	測定(1,2年) 社会科見学(4年) SC来校	○
	28	金	測定(3,4年) 保護者会(1~3年) 学年交流会(5校時・1年体育館,2年落二ルーム) SC来校	
	29	土		
A	30	日		
	31	月	全校朝会 保護者会(4~6年,若業) 学年交流会(5校時・4年体育館,6年落二ルーム)	
	9月1日	火		SC来校 ○
	2	水	クラブ	
	3	木	学校公開 音楽朝会 伝統文化授業(4年) SC来校	○
B	4	金	学校公開 いっぱいあそぼうでい 学校評議員会 SC来校	○
	5	土		
	6	日	全校朝会 学校公開 日本舞踊授業(3年) 学校説明会 引き取り訓練(6校時,校庭)	
	7	月	振替休業日	
	8	火	水泳指導終	SC来校 ○
	9	水	特水時程4時間授業 小中交流会(落二小)	
	10	木	体育朝会 安全指導	SC来校
	11	金	図書ボランティア読み聞かせ	SC来校
	12	土		
	13	日	区水泳大会	
	14	月	全校朝会 あいさつ運動(始)	
	15	火		SC来校 ○
	A	16	水	特水時程4時間授業 PTA運営委員会 モアレ検査(5年)
17		木	児童集会(落二まつり紹介集会)	SC来校 ○
18		金	落二まつり あいさつ運動(終)	SC来校 ○
19		土		
B	20	日		
	21	月	敬老の日	
	22	火	国民の休日	
	23	水	秋分の日	
	24	木	全校朝会 クラブ(6校時) SC来校	
	25	金	遠足(低学年) 伝統文化授業(4年) SC来校	○
	26	土		
A	27	日		
	28	月	全校朝会 美術鑑賞教室(4年)	○
	29	火	遠足予備日(低学年)	SC来校 ○
	30	水		
	10月1日	木	都民の日	
	2	金	避難訓練(二次)	SC来校 ○

※「SC来校」とは「スクールカウンセラー」が本校に勤務している日です。

※放課後遊びのある日は右の表に○がついています。

9月の学校公開**教務主幹**

9月3日(木)4日(金)6日(日)の3日間、学校公開を実施します。子どもたちの学校での様子と成長ぶりをぜひご覧いただきたいと思います。6日は日曜参観となります。平日ではなかなか参観できない方も、学校にいらしていただければ幸いです。

4日(金)は「いっぱいあそぼうでい」となっています。普段より長い休み時間を有意義に過ごしたり、昼休みの縦割り活動を通して異学年交流を図ったりする子どもの姿をぜひご覧いただきたいと思います。

なお、6日(日)の6校時には引き取り訓練を行います。学校から出されるプリントを参照の上、ご理解とご協力の程、よろしく申し上げます。

また、この日は来年度新1年生になる子どもをおもちの保護者方のための「学校説明会」を9:35(2校時)から落二ルームにて行います。お知り合いやご近所に、新1年生の保護者の方がいらっしゃいましたらお伝えいただけると幸いです。あわせてよろしく申し上げます。

落二まつり**特別活動部**

9月18日(金)の2,3校時に、児童集会「落二まつり」を行います。

今年も各クラスで内容を話し合い、全校児童が楽しむことができるようなお店を準備していきます。どんなお店が出店されるのか、今から楽しみです。

昨年度と変わった点があります。今年からたて割り班を生かし、「バディ」を組んでお店を回ります。上学年の子は下学年のお世話をします。下学年の子は上学年の姿を見ながら学び、楽しんでほしいと思います。

また、今年から1年生はお店を出店せず、その分たっぷり活動できる時間を設けました。来年からの活動に生かせるよう、たくさんのお店を体験できるようにしました。

2学期に入るとすぐに準備を始めます。子どもたち一人一人が主体的に取り組んでいけるよう、支援していきます。

防災・減災教育**生活指導主幹**

6月のセーフティ教室では、日本赤十字社東京都支部の方を講師に招いて「防災・減災について」の学習をしました。地域の防災力は、「自助・共助・公助」の総合力ですが、自助(自分の身を自分で守ること)が最も大切で、防災・減災の基本となっています。

では、自分の身を自分で守る力を身につけるには、どうすればよいのでしょうか?それには、防災や減災に関する正しい知識や知恵、災害時の行動の仕方を身につける必要があります。具体的には、訓練や演習、防災教育が挙げられます。特に、東日本大震災の大津波から岩手県釜石市の小中学生約3千人が逃げ切った【釜石の奇跡】で震災前から継続して実施されていた「自分の命は自分で守る」防災教育の効果が立証されました。

南海トラフ巨大地震、首都直下型地震が近い将来予測されており、昨年は広島土砂災害、御嶽山噴火などの大災害が相次ぎました。自然を知り、地域を学び、対応を考え、避難と救助に動き、自分と地域の命を守りぬくための教育の必要性は震災後さらに増えています。

引き取り訓練について

日 時 平成27年9月6日(日)
午後2時20分

場 所 校庭(雨天時 体育館)
その他 ・詳細は別紙お知らせをご覧ください。

90周年航空写真の再販売について**教務主幹**

90周年航空写真の再販売を行います。中井玄関に写真見本、申込のお知らせ及び申込み封筒を置かせていただきます。販売期間は8月28日(金)から9月11日(金)までとさせていただきます。希望される方は、期限までに封筒を各担任までご提出ください。なお今回の販売が最終となります。どうぞよろしくお願いいたします。

【落合第二小学校90年の歩み】**～その4～**

今回は校内研究の歴史です。昭和30～50年代の沿革を紐解くと、理科研究発表校・社会研究発表校という記録が多く伺えます。平成に入ると、4年は体育科、9年は全教科全領域、19年には総合的な学習の時間等で研究発表会が行われています。その時代時代の新たな教育的ニーズに真摯に向き合い、熱心に取り組んできた歴史を感じます。因みに「落合の里」造成は、盛んに地域の教育力・地域との連携が叫ばれ始めた流れと時を同じくしており、今の地域協働学校へと繋がっています。近年、言語活動の充実と呼応して23年には国語科の研究発表会が行われました。(続)